



☆大和市

平成29年市長年頭記者会見資料

と き 平成29年1月11日（水）
午前10時30分から
ところ 大和市役所3階 公室

1 市長あいさつ

2 会見内容

- (1) 「“グラリ” 3分一斉行動」訓練を実施・・・・・・・・・・ 1
- (2) 災害時における通電火災防止のための協定を新たに締結・・・ 2
- (3) 平成29年度に予定する施策から
 - ① 公園にスタンドパイプ消火資機材を新たに設置・・・・・・・・ 3
 - ② 旧図書館・旧生涯学習センターの活用・・・・・・・・・・ 4

(1) 「“グラリ” 3分一斉行動」訓練を実施

3月11日に、すべての市民の皆さんが気軽に参加できる「“グラリ” 3分一斉行動」訓練を初めて実施します。

1) 趣旨

平成23年3月に発生した東日本大震災などを教訓に、大和市では、災害に関するさまざまな取り組みを実施しています。また、各地域における訓練や研修会なども積極的に実施しており、災害に強いまちづくりに努めています。

市は今回、市民一人ひとりのさらなる防災意識の向上を目的に、すべての市民の皆さんが気軽に参加できる「“グラリ” 3分一斉行動」訓練を初めて実施します。

同訓練は、「自助」に重点を置いた訓練で、従来のシェイクアウト訓練などに独自の訓練を加えた3種類の訓練を3分間で実施します。特別な道具を必要とせず、同訓練の実施時刻に居た場所で気軽に参加できるのが特徴です。

2) 訓練日時

平成29年3月11日（土） 午後2時47分～2時50分

3) 訓練対象者

本訓練に賛同するすべての市民

4) 訓練内容

午後2時46分：黙とう（東日本大震災発生時刻）

2時47分：【訓練①】シェイクアウト訓練



提供：効果的な防災訓練と防災啓発提唱会議

2時48分：【訓練②】火災防止・逃げ道確保などを想定した訓練

<在宅時>コンロなどを消す、ブレーカーを落とす、
玄関を開放するなど

<屋外時>落下物に注意し、建物から離れるなど

<運転時>減速し、安全な場所に停車するなど

2時49分：【訓練③】次の行動を冷静に考える訓練

周りの状況をよく確認し、災害情報の入手、隣近所の消火・
救助活動など、その場に応じた次の行動を考える

問い合わせ：危機管理課 ☎（260）5777

(2) 災害時における通電火災防止のための協定を新たに締結

災害後の電力復旧時の通電火災を防止することを目的に「災害時における通電火災防止・電力復旧に関する協定」を東京電力パワーグリッド株式会社と締結します。

1) 趣旨

阪神・淡路大震災では、原因が判明している火災のうち約6割が「通電火災」が原因であったといわれています。通電火災は、災害時に発生した停電を復旧させる際に、災害の影響で倒れてしまった電気機器などから発火したり、断線した電気配線から火花が散って引火したりすることなどから発生する火災です。

災害後の電力復旧の際に発生する通電火災は、住人の不在時に発生するケースも少なくないため、初期消火が遅れ、延焼するリスクも高くなります。

そこで、大和市では、こうした通電火災を防止することを目的に「災害時における通電火災防止・電力復旧に関する協定」を東京電力パワーグリッド株式会社と今月16日に締結します。

同協定では、電力復旧までの両者の役割分担や作業手順が明確となっています。同協定に基づき、両者が緊密な連携をとることで、災害時における体制をさらに強化し、被害の軽減を図ります。

なお、通電火災に備える協定を締結するのは東京電力管轄内で2例目、必要と判断される場合に消防部隊を当該エリアに配備する内容を盛り込んだものを取り交わすのは、初となります。

2) 主な協定内容

- 東電側が市と情報を共有の上、大規模な停電の発生した被災地域を戸別訪問し、安全が確認できた家屋などの電力復旧作業を実施する。
- 電力供給再開について、市と東電側と協議した中で配備が必要と判断された場合、万が一の火災の発生に備え、市が同地域に消防部隊を配備する。
- 東電側の速やかな電力復旧作業を実施できるよう資材置き場や駐車場などのスペースを市が提供する。

3) 協定締結式

日時：平成29年1月16日（月）午前10時～10時30分

場所：大和市役所3階 市長公室

締結先：東京電力パワーグリッド株式会社 相模原支社

出席者：大木哲・大和市長、井上昇・副市長、伊部啓之・副市長、
萩野谷公一・消防長

伊藤正二・東京電力パワーグリッド株式会社相模原支社支社長

問い合わせ：消防本部警防課 ☎（260）5776

(3) 平成29年度に予定する施策から

①公園にスタンドパイプ消火資機材を新たに設置

大和市では、大規模震災時の初期消火活動や延焼防止活動の推進のため、スタンドパイプ消火資機材の導入を積極的に進めています。

市は、これまでも、同資機材を市内の自主防災組織をはじめ、コンビニエンスストア、コミュニティセンター、鉄道の駅、福祉施設などに合計365台配備しています。

平成29年度には、さらなる防災環境の充実を図るため、木造建物密集地域内の30か所の公園に同資機材を設置します（平成30年度も30か所に設置を予定）。

公園は、人目に付きやすく、また、一時避難場所に指定されているため、大規模震災時に、より多くの市民の皆さんが同資機材を使用することができます。

併せて、同資機材の収納庫の鍵を収納するため、震度5クラスの揺れを感知すると自動的に解錠される「地震時自動解錠ボックス」を併設します。同ボックスを整備することで、同資機材をより迅速に活用できる環境を整えます。

問い合わせ：消防署管理課 ☎（260）5779

②旧図書館・旧生涯学習センターの活用

図書館と生涯学習センターが、大和市文化創造拠点シリウスへ移転しました。

市は、これら2つの旧施設を、市民の皆さんが気軽に集い、交流を深めることができる施設に整備します。開館は平成30年4月を予定しています。

旧図書館は、建物の一部を改修し、一定期間（原則1年）単位で市民団体や起業家などの活動拠点として活用できる、大学の「部室」のようなイメージの個室（以下、「部室」）や「市民交流スペース」を整備します。このほか、市の既存機能である青少年センターや市民活動センターを移転集約します。

旧生涯学習センター北館には、起業家の方々のセミナールームや外国の方との交流ができる「国際交流サロン」を新たに整備します。また、同サロン利用者との連携を図るため、大和市国際化協会などを移転します。

なお、生涯学習センターの本館とホールは解体し、財源確保のため、民営駐車場などとします。

表：旧図書館・旧生涯学習センターに入居する機能一覧（予定）

旧建物（跡地）		入居施設機能	分類	
図書館	3階	青少年相談室（まほろば教室）	移設	
	2階	部室など	新規	
	1階	部室など		
		市民交流スペース		
		大和市民活動センター	移設	
		大和シルバークリスタルセンター		
	青少年センター	新規		
大和市民全国県人会連合会				
地階	行政文書・市史資料保管庫	新規		
生涯学習センター	北館	3階	多目的スペース	既存
		2階	大和スポーツ・よか・みどり財団	移設
		1階	大和市民国際化協会	
			国際交流サロン	
	起業者支援スペース（セミナールーム）	新規		
本館・ホール跡地	民営駐車場など			

※このほか、旧生涯学習センター敷地内にボール遊びができる公園を整備します

問い合わせ： 図書・学び交流課 ☎（259）6105